

「あたりまえのことが・・・。」



(やっていいこと わるいこと やらなければいけないこと)

「今日から1年生が休み時間に校庭でいっしょに遊びます。みんなで元気に仲良く遊べるように、みんなで気をつけてこの1週間を過ごしましょう。それでは朝のあいさつをしましょう。おはようございます。」(おはようございまあす。)

元気に挨拶ができました。

新学期が始まって、始業式の日には、みんながひとつずつ大きくなって、桃五のみんなが「元気に、仲良く、楽しくすごす」ことをめあてにしようという話、先週は『みんなが元気に仲良く楽しく』過ごすためにはあいさつが大切ですよ、というお話をしました。

さて、今日は、『あたりまえのことが』という話をします。

もう皆さんもテレビのニュースなどでごそんじのように、九州、熊本県の方で大きな地震がありました。ついこの間までは、5年前の東北であった大地震と津波で、まだ自分の家に帰れない人や行方不明でまだ探しているという話をしていました。

ところが、先週の木曜日の夜、九州で大きな地震があり、その後も余震といって大きな地震が続いていましたが、土曜日の朝早くまだ暗い頃に、木曜日の地震よりもっと大きな地震がおきました。その結果、土砂崩れや道路の陥没、たくさんの家の倒壊など、さらに多くのそして大きな被害が出てしまいました。

その後もずっと大きな地震や小さな地震が続いていて、危険なために自分の家に帰れず避難生活をしている人が、今九州熊本地方で20万人もいらっしやるそうです。

今、皆さんがここで当たり前のように月曜朝会をし、友だちがいて学校があって先生がいて、家に帰れば家族がいてお風呂にも入れてご飯も食べられて、それこそそんな当たり前のことをあたり前に過ごしています。

ところが、同じ日本という同じ国のなかの九州地方熊本県を中心にととてもたくさんに人たちが、家をなくし家族をなくし、お店で普通にものも買えず、食事でもできず、お風呂どころか、電気や水道も使えない。それこそ、当たり前のことが何一つできない避難生活をしています。避難所が足りず外で夜を明かしている人だっています。

いま、皆さんがここにいて普通に過ごし、当たり前と思っていることが、実はとっても大切でかけがえのないことなのです。

ですから、「今ある当たり前のこと」を大切に守ってほしいのです。

始業式の日にもお話したように、桃五小の1年生から6年生まで、みんなが元気に・仲良く・楽しくすごすことが大切です。

自分だけでなくどの子もみんなが「元気に・なかよく・楽しく」すごすためには、最低限だれもが守らなければならない約束があります。

やらなければいけないことはやらなければいけない。やってはいけないことはやっ

てはいけないのです。

そのために、当たり前約束を3つお話しします。当たり前約束。だけど、なかなか守れない約束。でも大切な約束。

それは、「あぶないことはしない。」「人のいやがることはしない。」「決まりを守る。」の3つです。1年生から6年生まで当てはまる、当たり前だけどみんなが楽しく元気に仲良く暮らすためにはとっても大切な約束。この約束が守れないととも、みんなが楽しく元気に暮らすことは難しい気がするのです。今当たり前でも、とっても大切なみんなと「元気に、なかよく、楽しく暮らす、当たりの暮らし。それを守るためにもう一度みんなの約束思い出してください。

それと同時に、今回の地震で不自由でつらい生活をしている九州地方、熊本県の人たちに、皆さんが何か助けてあげることにはできないでしょうか。何かできることはないのでしょうか。

自分も人も大切にすることのできる桃五の皆さん。「やってはいけないこと。」「やらなければいけないこと。」をきちんとかんがえてみんなが楽しくすごせるようがんばれるのと同時に、今同じ日本の国のなかで、今回の地震で当たりの生活ができなくなり、不自由な毎日を送っている人たちに対して何かできること、考えてみてください。

どうですか。できそうなことはありませんか。一人一人、考えてくださいね。

